

昭和北中学校区 第1号 小中一貫だより

令和6年9月2日発行
昭和北中学校区小中一貫教育研究協議会
(昭和北中学校, 昭和北小学校, 昭和西小学校)

昭和北中学校区 めざす子ども像「自らを生きし、共によりよく生きようとする児童生徒」

研究テーマ 自らを生きし、共によりよく生きようとする児童生徒の育成
～安心して学校生活を送ることができる風土の醸成を通して～

昭和北中学校区では、昭和北中学校・昭和北小学校・昭和西小学校の3校が「未来を拓く人間の育成」を学校教育目標にいろいろな学習活動を行っています。昨年度から引き続き中学校の教員による乗り入れ授業や、今年度から男女混合名簿になったことを受けて敬称を「さん」で統一する等、小中で連携しながら取り組んでいます。また、昨年度の取組の成果と課題を踏まえ、今年度は以下の3つの部会に分かれ、小中が協力して研究を進めています。

〈インクルーシブ教育部会〉

部会テーマ：全ての児童生徒が主体的に参加することができる指導方法の工夫

〈心の回復力向上部会〉

部会テーマ：児童生徒の心の回復力を高める指導方法の工夫

〈集団づくり部会〉

部会テーマ：生徒指導の三機能を生かした指導方法の工夫

今年度の昭和北中学校区3校の概要を紹介いたします。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



昭和北中学校

校長 九十九 尚志 PTA会長 實兼 新吾
生徒数 502名



昭和北小学校

校長 香川 隆太 PTA会長 明神 政之
児童数 558名



昭和西小学校

校長 阿部 貴志 PTA会長 杉本 聖継
児童数 336名



※1学期末現在

小中一貫合同研修会

6月7日(金)の第1回小中一貫合同研修会では、昭和北小学校でレジリエンスについての研修を行いました。講師に鈴木水季様をお招きし、「逆境に負けない心を育てる教師の関わり～学校で身に付ける子供と教師のレジリエンス～」という演題で講演していただきました。レジリエンスを育成するために、児童生徒の自己肯定感を高める取組を行っていくことや教師がレジリエンスについての理解を深め、自分自身のレジリエンスも高めていくことが大切であると感じた研修でした。



また、8月2日(金)に第2回小中一貫合同研修会を昭和西小学校で実施しました。呉特別支援学校の林香様による研修では、すべての児童生徒が主体的に学べるユニバーサルデザインの授業づくりについて講演していただきました。演習を通して児童生徒の理解の仕方が多様であることを実感したり、児童生徒への支援や合理的配慮について理解を深めたりしました。そして、第3回小中一貫合同研修会に向けて3つの部会ごとに分かれ、部会テーマに沿った授業について協議を行いました。インクルーシブ教育部会では、つまりく児童の多い円の面積の応用問題の授業で、児童が意欲をもって学習に取り組み、理解できるための指導・支援の工夫について協議しました。心の回復力向上部会では、友達や自分のよさに気づき、受け入れることで児童生徒の自己肯定感やレジリエンスを高めるための指導方法について協議しました。集団づくり部会では、より良い集団をつくるために、お互いの良さを認め合おうとする心情を育てるための指導方法について協議しました。次回の合同研修会では昭和北小学校で以下の授業を行い、協議した指導方法の効果について検証します。

インクルーシブ教育部会
心の回復力向上部会
集 団 づ く り 部 会

第6学年 算数科「円の面積」
第3学年 道徳科「じゃがいもの歌」(自分らしさ)
第1学年 道徳科「ええところ」(自分のよさ)



<今後の予定>

- | | |
|-----|---|
| 10月 | 第3回小中一貫教育合同研修会
中学校陸上部による陸上記録会合同練習会
昭和西小学校：10月22日(火)
昭和北小学校：10月 7日(月)・10月21日(月) |
| 1月 | 第4回小中一貫教育合同研修会 |
| 2月 | 中学校教員による乗り入れ特別授業 |